

# 「です」言い切り用法の普及に関する考察

A study on the spread of the usage of an auxiliary verb “desu”

野村 貴郎

NOMURA Kiro

武庫川女子大学 学校教育センター年報

第3号 2018年

「です」言い切り用法の普及に関する考察

A study on the spread of the usage of an auxiliary verb “desu”

野村貴郎\*

NOMURA, Kiro\*

要旨

現在なお用法の混乱している助動詞「です」の使用状況を、18歳～24歳の378名に対するアンケートをもとに考察した。その結果、(1)従来は未然形にしか接続しなかった助動詞の中にも接続する語が増えてきていること。(2)形容詞に接続する「です」の用法は、ほぼ完全に定着していること。(3)助動詞「た」に接続する「です」の用法に関しては、文意が動詞型のものには接続しないが、形容詞型のものには接続するようになってきていること。(4)助詞の中では格助詞が比較的「です」に続きにくいことなどがわかった。

また、1996年のアンケートデータから18歳～24歳の142名を抽出し集計し直して、この21年間の使用率の変化も考察し、(5)「白いです」「ないです」が20%近く、「美しいです」が約15%、「暫くです」「美しかったです」「痛かったです」が約10%上がっていること。(6)「みたいです」が約10%下がっていることなどを確認した。

キーワード：です 敬讓指定 助動詞 敬語 丁寧語

はじめに

1952年4月、国語審議会は「これからの敬語」<sup>(1)</sup>（7 形容詞と「です」）で、「これまで久しく問題となっていた形容詞の結び方—たとえば、『大きいです』『小さいです』などは、平明・簡素な形として認めてよい。」と建議し、学校教育もその方針に沿って文法教育がなされてきたが、この「形容詞の終止形+です」の用法は、2017年現在、どの程度まで普及・定着しているのだろうか。

形容詞に接続する場合に限らず、われわれは日常生活において「です」の用法に疑問を感じたり、違和感をもったりすることが多い。現在もなお「ゆれ」ているのである。そこで、2017年の現段階で、「です」はどのような語に接続し、どの程度普及しているのか、20歳前後の人を対象とした調査結果をもとに考察してみた。

1. 研究の目的

敬讓指定の助動詞「です」の起源や用法については先学の優れた研究も多いが、「です」の用法は現在もなお「ゆれ」ている。本稿では、2017年1月～5月に18歳～24歳の378名に対して実施したアンケート調査をもとに、2017年現在、「です」言い切りの形が、どのような語に接続し、どの程度正しい用法として認められているのか、その使用状況を具体的に検討し考察する。

また、1996年に11歳から82歳までの778名にアンケート調査を実施し、年代別の使用状況を考察した拙稿<sup>(2)</sup>を公表したが、そのデータから今回あらためて18歳～24歳の142名を抽出して集計し直し、この21年間の使用状況の変化にも注目する。

\* 教育学科名誉教授

## 2. 調査研究の方法

1996年のアンケート調査と同じ「です。」で言い切りになる50の短い例文を使用して、アンケート調査した。(後掲【アンケート】参照)ピックアップしている語は、次のとおりである。

体言型＝名詞・形容動詞の語幹・形容動詞型の助動詞の語幹「みたい」「よう」「そう」・

助動詞の連体形「べき」・助詞「の」「ん」

形容詞型＝形容詞の終止形・形容詞型の助動詞の終止形「たい」「ない」

動詞型＝動詞の終止形・助動詞の終止形「せる」「れる」

その他＝助動詞の終止形「らしい」「た」「ます」「(ませ)ん」・

副詞「かなり」「少し」「ゆっくり」「暫く」・副詞の一部「堂々」・

助詞「から」「くらい」「だけ」「に」「ばかり」「ほど」「まで」

## 3. 調査の内容

### 3-1. 実施時期と調査対象

実施時期；2017年1月～5月

調査対象；18歳～24歳の大学生378名

(1996年7月のアンケート調査から抽出した18歳～24歳の高校生・大学生・社会人142名のデータも集計し利用した)

### 3-2. 調査項目

1996年のアンケート調査と同じ「です。」で言い切りになる50の短い例文を使用して、問1～50とした。そして、それぞれの用法について「1＝正しいと思うので使っている」「2＝少し変だと思いが使っている」「3＝正しいと思うが私は使わない」「4＝変だと思うので私は使わない」の4種の選択肢を用意し、その中から一つを選ぶ形式とした。さらに、問56で年齢、問57で卒業した小学校の所在都道府県名も書いてもらった。

### 3-3. 結果の処理

集めたアンケートのデータをコンピュータに入力し、表計算ソフトを使って処理した。そして、質問番号順に、それぞれの選択肢の回答人数と回答率(百分率、小数点以下2位を四捨五入)を1～4の回答別にまとめて一覧表にした。さらに、例文を用法別整理番号順に並べ換えた一覧表を作成し、「助動詞『です』の使用状況に関する調査/回答者数(人)・回答率(%)集計表」(後掲【集計表】)としてまとめ、それをもとに考察した。

## 4. 調査結果とその考察

主として【集計表】「助動詞『です』の使用状況に関する調査/回答者数(人)・回答率(%)集計表」によって「です」言い切りの使用状況を考察したが、その結果、以下のようなことがわかった。

- (1) 体言に接続する「です。」の用法は、従来どおり、ほぼ完全に正しい用法として定着している。調査したのは整理番号1「美人」の例文(以後、No.1のように記す)だけであるが、全対象者の97.6%(1996年は90.9%、以後、百分率のみを記す)が使用していると回答しており、しかも「1＝正しいと思うので使っている」だけでも89.7%(81.7%)を占めている。
- (2) 形容動詞の語幹に接続する「です。」の用法も、ほぼ完全に定着している。No.2「静か」は97.1%

(95.8%), No.3「きれい」は99.5% (98.6%) と、ほぼ全員が使用している。

- (3) 助動詞の語幹 No.4「みたい」、No.5「よう」、No.6「そう」に接続する「です。」の用法も、使用率 75.2% (84.9%), 82.8% (87.3%), 98.1% (96.5%) と、ほぼ定着しているといえる。しかし、正誤の認識には語によって差があり、特に「みたいです。」については、「1=正しいと思うので使っている」「3=正しいと思うが私は使わない」の合計、すなわち正しい用法であると認めている人が 39.4% (46.0%)、「2=少し変だと思うが使っている」「4=変だと思うので私は使わない」の合計、すなわちこの用法に違和感をもっている人が 60.6% (54.0%) と、違和感をもっている人が、正しいと思っている人の 1.5 倍となっている。また、この表現については、1996 年よりも約 10% 使用率が下がっていることも見逃せない。例文が不適切であったのか、あるいは「みたいです。」が、やや俗な響きをもっているからかと推測される。
- (4) 助動詞の連体形「べき」に接続する「です。」の用法もほぼ完全に定着している。No.7「べき」の使用率 97.1% (99.3%)、「1=正しいと思うので使っている」が 93.9% (97.2%) と、ほぼ完全に定着している。
- (5) 助動詞の終止形に接続する「です。」の用法の正誤の認識には、全体としての統一性はない。No.8~No.18 は吉田金彦<sup>③</sup>が指摘するように、従来は未然形「でしょ(う)」にしか接続しなかった用法である。現在では終止形「です」にも接続するものがあると思われるので調査してみたが、結果は様々であった。No.8「たい」に接続する用法は使用率 97.9% (96.5%) と、ほぼ完全に定着しており、No.9・No.10「ない」、No.11「らしい」に接続する用法も使用率 95.5% (80.9%), 92.3% (77.5%), 89.2% (86.6%) で、「ない」は 1996 年に比べて使用率を約 15% 上げており、これらの表現も、ほぼ完全に定着してきたといえるが、「らしい」に関しては「2=少し変だと思うが使っている」の回答者が 24.9% (33.1%) と多く、この用法には疑問をもちながらも使用している人の多いことを示している。辻村敏樹<sup>④</sup>は、このうちの「たい」「ない」を「形容詞型」に、「らしい」を「形容詞型に含めてよいもの」として分類しているが、これらの助動詞は形容詞と同様「—い」で終止する形をもっており、後述する形容詞と歩調を合わせるようにして普及してきたものと思われる。
- いっぽう、No.12「(だっ) た」、No.13「(困っ) た」、No.14「(まし) た」、No.15「ます」、No.16「(ませ) ん」、No.17「せる」、No.18「れる」に接続する用法は使用率 3.7% (25.4%), 0.8% (12.0%), 6.6% (2.1%), 2.9% (0%), 3.7% (0.7%), 4.0% (0.7%), 2.4% (0.7%) と認められていない。これらの助動詞は、終止形「です」の後に助詞がついた「ですね」「ですよ」「ですか」などの形まで考えると、もう少し使用率が上がるものと思われるし、未然形「でしょ(う)」に接続する用法まで含めると使用率はさらに上がると予測されるが、今回の調査は「です。」で終わる文に限定したので確認できなかった。
- (6) 副詞に接続する「です。」の用法にも、正誤の認識に全体としての統一性は見られなかった。本調査では使用が認められていると思われる副詞「かなり」「少し」「ゆっくり」「暫く」をとりあげた。No.20「少し」・No.21「ゆっくり」は 98.4% (97.2%)・89.4% (81.6%) と使用率が高く、No.22「暫く」は 69.6% (75.9%) と使用率は高いとはいえないながらも、この用法を認める傾向を見せている。それに対して No.19「かなり」は使用率も 12.9% (27.9%) と低く、「2=少し変だと思うが使っている」「4=変だと思うので私は使わない」と用法に疑問をもつ人が 93.9% (93.6%) で、この用法を認めない傾向を強く見せている。1996 年との比較で目を引いたのは「ゆっくり」で、使用率を約 8% 上げており、この 21 年の間に正しい表現と

して定着してきたといえる。

- (7) 文語ではタリ活用の形容動詞として扱われた語で、現在では一般的に副詞とされる語の一部(形容動詞語幹部分)に接続する「です。」の用法は認められていない。調査では、No.2「静か」No.3「きれい」の形容動詞(ナリ活用)との対比を考えて、本来はタリ活用の形容動詞であり、現在は副詞となっている「堂々と」の一部「堂々」(形容動詞語幹部分)をとりあげた。No.23「堂々」は93.9%(94.4%)が使用せず、「4=変だと思うので私は使わない」と明らかに誤った用法と認識したうえで使用しない人だけで89.4%(93.7%)に及んだ。
- (8) 動詞の終止形に接続する「です。」の用法も認められない。これは「です」の発生当初から存していたにもかかわらず、現在では一般的に認められない用法となっているものである。調査の結果も、No.24「遊ぶです」は99.5%(100%)、No.25「困るです」は99.2%(98.6%)が使用しないと回答しており、しかも、そのほとんどが「4=変だと思うので私は使わない」と、この用法が誤用であると認識している。ただし、吉田<sup>⑤</sup>が「この言い方は現代でも多く存し、これは方言的発想に由来する表現であるとみられる」と指摘しているように、地方によっては正しい用法と認めるところもあると思われるが、今回の調査では被調査者の出身については確認しなかった。
- (9) 形容詞の終止形に接続する「です。」の用法は、ほぼ完全に正しい用法として定着している。調査した13語の使用率は、No.26「情けない」97.8%(90.8%)、No.27「暑い」99.5%(98.6%)、No.28「白い」92.6%(73.3%)、No.29「危ない」95.0%(88.0%)、No.30「強い」98.4%(91.6%)、No.31「多い」97.9%(93.7%)、No.32「近い」99.2%(95.1%)、No.33「痛い」98.7%(90.8%)、No.34「いい」91.2%(97.2%)、No.35「ない」89.4%(70.4%)、No.36「難しい」98.6%(96.5%)、No.37「嬉しい」98.9%(96.5%)、No.38「美しい」92.8%(76.1%)であった。このように、最も使用率の低い「ない」の使用率でも89.4%(70.4%)あり、あとの12語は全て90.0%以上であった。これらの用法が、ほぼ完全に正しい用法として定着していることがわかる。ここで注目すべきは、「白い」「ない」「美しい」の3語である。この3語の使用率は1996年の調査では70%台であったが、この21年で20%近く使用率を上げて約90%に達しているのである。また、これら13語の「2=少し変だと思うが使っている」の回答率が、1996年の調査では14.8~29.6%と比較的高かったのに比べ、2017年の調査では数語を除いて極端に低くなっていることが注目される。やや違和感を覚えながらも、日常会話においては他に適当な言い方がないので使用していた時代から、違和感なく「形容詞の終止形+です。」の用法を使用する時代へと変わってきたということである。2007年2月の文化審議会答申「敬語の指針」<sup>⑥</sup>にも「『高いです。』のように形容詞に『です』を付けることについては抵抗を感じる人もあろうが、既にかなりの人が許容するようになってきている。特に『高いですね。』『高いですよ。』『高いですか。』などという形で使うことに抵抗を感じる人はほとんどいないであろう。」と記しておりである。
- (10) 形容詞に助動詞「た」の終止形がついた形に接続する「です。」の用法は、ほぼ定着してきている。No.39「(美しかった)た」、No.40「(痛かった)た」、No.41「(嬉しかった)た」の使用率は、90.8%(78.9%)、87.3%(76.1%)、94.7%(88.7%)で、定着してきたものと認められる。1996年調査と比較すると、11.9%、11.2%、6.0%と使用率が上昇しており、この21年間で着実に定着度を増してきた用法であるといえる。しかし、「2=少し変だと思うが使っている」の回答率も12.5%~19.8%とやや高く、正しい用法として完全に普及するには、もう少し年月



がかかるものと思われる。

また、この用法は、形としては「助動詞『た』の終止形+です。」であるから、(5)で考察した No.13「(困っ) た」0.8% (12.0%)、No.14「(まし) た」6.6% (2.1%) と同型であるが、使用率には大きな差があった。同じ「助動詞『た』の終止形+です。」の形でありながら、このような違いが生じたのは、助動詞「た」の前の語に関係していると思われる。No.13・No.14 は動詞型に「た」のつく用法であり、No.39～No.41 は形容詞型に「た」のつく用法である。このことから推測するに、この場合の「です。」は、助動詞「た」の終止形に接続するという事よりも、動詞型に接続するか、形容詞型に接続するかに大きく影響されているものと判断できる。つまり、(8)で見たように動詞には接続しないという認識と、(9)で見たように形容詞には接続するという認識が、そのまま、この用法にも反映しているのである。すなわち、「助動詞『た』の終止形+です。」の用法は、助動詞「た」には関係なく、その前の語の性質が「です。」に接続すると認められるか否かが正誤の認識を決定しているといえる。

- (11) 助詞に接続する「です。」の用法の正誤の認識には、全体としての統一性はない。しかし、詳細に検討してみると、接続助詞の No.44「から」98.1% (98.6%)、副助詞の No.46「だけ」98.7% (96.5%)、No.48「ばかり」98.1% (95.0%)、No.50「まで」98.7% (100%) の使用率は98%以上と極めて高く、続いて副助詞の No.45「くらい」77.7% (82.4%)、No.49「ほど」68.3% (78.2%) も68%を越える使用率である。それに対して使用率の比較的低い語は、No.42「の」49.3% (71.6%)、No.43「ん」65.0% (84.5%)、No.47「に」47.1% (57.5%) で、全て格助詞(準体助詞も含む)であった。さらに、これらの語は、「2=少し変だと思ってる」の回答率も20.9%～45.4%あり、その用法の正誤の判断に迷っている現状がうかがわれる。また、これらの格助詞の使用率は1996年調査より10.4%～22.3%低下しており、さらに混迷を深めている状態だといえる。むろん、この調査だけから、格助詞に「です。」が接続する用法を一般的に認められないなどということはできないが、この調査結果で意外なのは、当然正しい用法として認められていると予想していた体言代用の No.42「の」と No.43「ん」の使用率が予想より極端に低かったということ、さらに、その使用率がいっそう低下してきているということである。この用法は従来正しい用法として信じて疑わない用法であったばかりでなく、「形容詞+です」の用法がまだ認められなかった時期から、動詞や形容詞と「です」をつなぐ切り札的用法として盛んに使用されてきた便利な用法である。ところが、今回の調査では使用率が低かったばかりでなく「2=少し変だと思ってる」の回答率も高く、この用法に違和感をもっている人の多いことを認めざるを得ない結果であった。これをどう考えればよいのか。例文が不適切であったのか。日常会話ではなく書きことばを念頭においたならば、もっと高い使用率が得られたのか。あるいは、「形容詞の終止形+です」の形が普及してきたのに加えて、「思います」「言います」のように「動詞の連用形+ます」の形が一般的な表現として普及し、それに圧されて「形容詞の終止形+の+です」や「動詞の連体形+の+です」の形は衰退しつつあるのか。この調査では確認の方法がなく、判断に苦しむところである。

## おわりに

今回の調査によって、「です」の用法の「ゆれ」が小さくなってきていることを実感した<sup>7)</sup>。この「ゆれ」が、いつごろ、どのような形で落ち着くことになるのか、これからも見守っていきたいと思うが、わたし個人としては、「です」の用法、特に「形容詞の終止形+です」が、今よりももっと許容量の多

い、寛容な形で早く落ちつくことを期待している。1952年に国語審議会が建議した「これからの敬語」は「平明・簡素」で「各人の基本的人格を尊重する」敬語をめざして、「5 対話の基調」において「これからの対話の基調は『です・ます』体としたい。」とも提言しており、わたしも賛意を表するものであるが、この提言を実現させるためには、体言型の「○○です」（たとえば「彼女は美人です／美人でした」）や動詞型の「○○ます」（たとえば「思いきり遊びます／遊びました」）に対応する形容詞型の「○○です」（たとえば「今日は少し暑いです／暑かったです<sup>(8)</sup>」）という丁寧表現がどうしても必要になるからである。わたし自身の中にも「形容詞の終止形＋です」の使い方に対する違和感が少なからず存しており、これは大多数の人の感覚でもあろうが、この用法を許容し積極的に使うことによって、その違和感から脱したい。

## 注・引用文献

- (1) 国語審議会建議「これからの敬語」（7 形容詞と「です」）1952
- (2) 野村貴郎『「です」言い切り用法の考察』『武庫川女子大学紀要』44巻, 1996, pp.59-67
- (3) 吉田金彦『現代語助動詞の史的研究』明治書院, 1971, p.453
- (4) 辻村敏樹『「です」の用法——近世語から現代語へ——』近代語学会編『近代語研究 第一集』武蔵野書院, 1965, pp.343-362
- (5) 前掲(3) p.466
- (6) 文化審議会答申「敬語の指針」2007, p.28
- (7) 本調査で、大きな「ゆれ」を表している例は、格助詞(準体助詞も含む)のNo.42「の」49.3% (71.6%), No.43「ん」65.0% (84.5%), No.47「に」47.1% (57.5%) だけであった。その他は、かなり高い使用率で定着しているか、逆に極端に低い使用率(誤用と認識)のものがほとんどであった。
- (8) 「暑かったです」のほうが語法としては体系的であるが、「暑かったです」が現在では一般的で、心理的抵抗も少ないと思われる。

# 助動詞「です」の使用状況に関する調査 (その1)

武庫川女子大学 名誉教授 野村貴郎

## 〈調査のお願い〉

この調査は、現在における助動詞「です」の使用の実態を調査・分析し、その用法の変遷と現況とを研究する目的で行うものです。ご回答いただいた結果は統計的に処理し、この研究の目的以外には一切使用しませんので、ご多忙中まことに恐れ入りますが、本調査にご協力下さいますようお願い申し上げます。

## 〈記入上の注意〉

01～50 が「です」の使用状況についての質問で、すべて「～です。」で終わる文になっています。回答の選択肢は、すべて共通で、

- 1 = 正しいと思うので使っている      2 = 少し変だと思うが使っている  
3 = 正しいと思うが私は使わない      4 = 変だと思うので私は使わない

の4種類です。アンダーラインの部分に注意して、あなたの「です」の使用状況に最も近いものを必ず一つ選び、その番号を○で囲んで下さい。

〈質問〉 あなたは、少し丁寧<sup>ていねい</sup>に話そうとする場合、  
次の 01～50のような「です」の使い方をしますか？

	正しいと思うので使っている	少し変だと思うが使っている	正しいと思うが私は使わない	変だと思うので私は使わない
01 彼女は美人 <u>です</u> 。	..... 1	..... 2	..... 3	..... 4
02 森の中は静か <u>です</u> 。	..... 1	..... 2	..... 3	..... 4
03 彼女の話し方は、 <u>ゆっくり</u> です。	..... 1	..... 2	..... 3	..... 4
04 約束の時間まで、もう <u>暫く</u> です。	..... 1	..... 2	..... 3	..... 4
05 彼の態度は <u>堂々</u> です。	..... 1	..... 2	..... 3	..... 4
06 家までの距離は、 <u>かなり</u> です。	..... 1	..... 2	..... 3	..... 4
07 到着まで、あと <u>少し</u> です。	..... 1	..... 2	..... 3	..... 4
08 明日は雨になるよう <u>です</u> 。	..... 1	..... 2	..... 3	..... 4
09 彼女は淋し <u>そう</u> です。	..... 1	..... 2	..... 3	..... 4
10 あれが探していた学校 <u>みたい</u> です。	..... 1	..... 2	..... 3	..... 4
	正しいと思うので使っている	少し変だと思うが使っている	正しいと思うが私は使わない	変だと思うので私は使わない
11 眠いのは夜中まで起きていた <u>から</u> です。	..... 1	..... 2	..... 3	..... 4
12 量が多くて食べきれない <u>くらい</u> です。	..... 1	..... 2	..... 3	..... 4
13 笑っているのは <u>彼だけ</u> です。	..... 1	..... 2	..... 3	..... 4
14 このプレゼントは <u>君に</u> です。	..... 1	..... 2	..... 3	..... 4
15 いま料理ができた <u>ばかり</u> です。	..... 1	..... 2	..... 3	..... 4
16 彼の計算の早さは <u>驚くほど</u> です。	..... 1	..... 2	..... 3	..... 4
17 授業は明日 <u>まで</u> です。	..... 1	..... 2	..... 3	..... 4
18 私は <u>彼が正しいと思う</u> のです。	..... 1	..... 2	..... 3	..... 4
19 彼は <u>プールに行こう</u> と言 <u>うん</u> です。	..... 1	..... 2	..... 3	..... 4
20 今日は思いきり <u>遊ぶ</u> です。	..... 1	..... 2	..... 3	..... 4
	正しいと思うので使っている	少し変だと思うが使っている	正しいと思うが私は使わない	変だと思うので私は使わない



	正しいと思うので 使っている	少し変だと思うが 使っている	正しいと思うが 私は使わない	変だと思うので 私は使わない
21 お金がないと <u>困る</u> です。	1	2	3	4
22 お金を落として <u>困った</u> です。	1	2	3	4
23 お金を落として <u>困りました</u> です。	1	2	3	4
24 今夜は星が <u>きれい</u> です。	1	2	3	4
25 この季節は紫陽花が <u>美しい</u> です。	1	2	3	4
26 山から見た景色が <u>美しかった</u> です。	1	2	3	4
27 こんな失敗をして <u>情けない</u> です。	1	2	3	4
28 今日は少し <u>暑い</u> です。	1	2	3	4
29 入道雲が <u>白い</u> です。	1	2	3	4
30 この問題は <u>難しい</u> です。	1	2	3	4

	正しいと思うので 使っている	少し変だと思うが 使っている	正しいと思うが 私は使わない	変だと思うので 私は使わない
31 川で泳ぐのは <u>危ない</u> です。	1	2	3	4
32 彼は力が <u>強い</u> です。	1	2	3	4
33 六月は雨が <u>多い</u> です。	1	2	3	4
34 家から学校までは <u>近い</u> です。	1	2	3	4
35 食べすぎで、お腹が <u>痛い</u> です。	1	2	3	4
36 笑いすぎて、お腹が <u>痛かった</u> です。	1	2	3	4
37 手伝ってくれると <u>嬉しい</u> です。	1	2	3	4
38 協力してくれて、 <u>嬉しかった</u> です。	1	2	3	4
39 私は最後で <u>いい</u> です。	1	2	3	4
40 今日は見たい番組が <u>ない</u> です。	1	2	3	4

	正しいと思うので 使っている	少し変だと思うが 使っている	正しいと思うが 私は使わない	変だと思うので 私は使わない
41 遅刻するのは、 <u>よくない</u> です。	1	2	3	4
42 合格する自信が <u>あります</u> です。	1	2	3	4
43 合格する自信は <u>ありません</u> です。	1	2	3	4
44 君はもっと自信を持つ <u>べき</u> です。	1	2	3	4
45 すぐに学校に行か <u>せる</u> です。	1	2	3	4
46 そんなこと言うと、人に笑わ <u>れる</u> です。	1	2	3	4
47 そんな話は知ら <u>ない</u> です。	1	2	3	4
48 彼女は必死に <u>頑張</u> たら <u>しい</u> です。	1	2	3	4
49 私はヨーロッパを <u>旅行</u> したいです。	1	2	3	4
50 楽しい授業だ <u>った</u> です。	1	2	3	4

	正しいと思うので 使っている	少し変だと思うが 使っている	正しいと思うが 私は使わない	変だと思うので 私は使わない
--	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------

- 56 あなたの年齢を書いて下さい。→ [       ] 歳  
57 あなたが卒業した小学校の所在地を都道府県名で書いて下さい。→ [       ]

\*\*\* ご協力ありがとうございました。\*\*\*

【集計表】

助動詞「です」の使用状況に関する調査／回答者数(人)・回答率(%)集計表

質問号 整理番号	1	2	24	10	8	9	44	49	47	41	48	50	22	23	42	43	45	46	6	7	3	4	5	20	21
質問文	彼女は美人です。△体言▽	森の中は静かです。△形容動詞の語幹▽	今夜は星がきれいです。△形容動詞の語幹▽	あれが探していた学校みたいです。△助動詞の語幹▽	明日は雨になるようです。△助動詞の語幹▽	彼女は淋しそうです。△助動詞の語幹▽	君はもつと自信を持つべきです。△助動詞の連体形／べき▽	私はヨーロッパを旅行したいです。△助動詞の終止形／たい▽	そんな話は知らないです。△助動詞の終止形／ない▽	遅刻するのは、よくないです。△助動詞の終止形／ない▽	彼女は必死に頑張ったらしいです。△助動詞の終止形／らしい▽	楽しい授業だったです。△助動詞の終止形／た▽	お金を落として困ったです。△助動詞の終止形／た▽	お金を落として困りましたです。△助動詞の終止形／ました▽	合格する自信がありますです。△助動詞の終止形／ます▽	合格する自信はありませんです。△助動詞の終止形／ません▽	すぐに学校に行かせるです。△助動詞の終止形／せる▽	そんなこと言うと、人に笑われるです。△助動詞の終止形／れる▽	家までの距離は、かなりです。△副詞／かなり▽	到着まで、あと少しです。△副詞／少し▽	彼女の話し方は、ゆっくりです。△副詞／ゆっくり▽	約束の時間まで、もう暫くです。△副詞／暫く▽	彼の態度は堂々です。△副詞の一部／堂々▽	今日は思いきり遊ぶです。△助動詞の終止形▽	お金がないと困るです。△助動詞の終止形▽

2017年

回答者数(人)	1	339	337	359	133	249	339	355	351	328	273	243	4	0	23	11	13	11	3	11	335	257	179	10	0	2
	2	30	30	17	151	64	31	12	19	33	76	94	10	3	2	0	1	4	6	38	35	79	84	13	2	1
	3	3	5	2	16	28	3	5	2	2	4	13	1	1	2	0	0	3	2	12	2	12	40	17	4	2
	4	6	6	0	78	37	4	6	6	15	25	28	362	374	351	367	364	360	367	317	4	28	72	337	372	373
計		378	378	378	378	378	377	378	378	378	378	378	377	378	378	378	378	378	378	378	376	376	378	377	378	378
回答率(%)	1	89.7	89.2	95.0	35.2	65.9	89.9	93.9	92.9	86.8	72.2	64.3	1.1	0.0	6.1	2.9	3.4	2.9	0.8	2.9	89.1	68.4	47.4	2.7	0.0	0.5
	2	7.9	7.9	4.5	40.0	16.9	8.2	3.2	5.0	8.7	20.1	24.9	2.6	0.8	0.5	0.0	0.3	1.1	1.6	10.0	9.3	21.0	22.2	3.4	0.5	0.3
	3	0.8	1.3	0.5	4.2	7.4	0.8	1.3	0.5	0.5	1.1	3.4	0.3	0.3	0.5	0.0	0.0	0.8	0.5	3.2	0.5	3.2	10.6	4.5	1.1	0.5
	4	1.6	1.6	0.0	20.6	9.8	1.1	1.6	1.6	4.0	6.6	7.4	96.0	98.9	92.9	97.1	96.3	95.2	97.1	83.9	1.1	7.4	19.0	89.4	98.4	98.7

1996年

回答者数(人)	1	116	117	126	62	104	130	138	118	85	57	76	11	6	2	0	0	0	7	124	51	73	0	0	0	
	2	13	19	14	56	20	6	3	19	29	53	47	25	11	1	0	1	1	32	14	64	34	8	0	2	
	3	8	3	1	2	3	3	1	0	3	3	1	5	1	0	0	3	0	0	2	1	5	9	1	0	0
	4	5	3	1	19	15	2	0	5	24	29	18	101	124	139	142	138	141	141	99	3	21	25	133	142	140
計		142	142	142	139	142	141	142	142	141	142	142	142	142	142	142	142	142	142	140	142	141	141	142	142	142
回答率(%)	1	81.7	82.4	88.7	44.6	73.2	92.2	97.2	83.1	60.3	40.2	53.5	7.8	4.2	1.4	0.0	0.0	0.0	5.0	87.3	36.2	51.8	0.0	0.0	0.0	
	2	9.2	13.4	9.9	40.3	14.1	4.3	2.1	13.4	20.6	37.3	33.1	17.6	7.8	0.7	0.0	0.7	0.7	22.9	9.9	45.4	24.1	5.6	0.0	1.4	
	3	5.6	2.1	0.7	1.4	2.1	2.1	0.7	0.0	2.1	2.1	0.7	3.5	0.7	0.0	0.0	2.1	0.0	1.4	0.7	3.5	6.4	0.7	0.0	0.0	
	4	3.5	2.1	0.7	13.7	10.6	1.4	0.0	3.5	17.0	20.4	12.7	71.1	87.3	97.9	100.0	97.2	99.3	99.3	70.7	2.1	14.9	17.7	93.7	100.0	98.6

質問番号 整理番号	27	28	29	31	32	33	34	35	39	40	30	37	25	26	36	38	18	19	11	12	13	14	15	16	17
質問番号 整理番号	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
質問例文	こんな失敗をして情けないです。△形容詞の終止形▽	今日は少し暑いです。△形容詞の終止形▽	入道雲が白いです。△形容詞の終止形▽	川で泳ぐのは危ないです。△形容詞の終止形▽	彼は力が強いです。△形容詞の終止形▽	六月は雨が多いです。△形容詞の終止形▽	家から学校までは近いです。△形容詞の終止形▽	食べすぎで、お腹が痛いです。△形容詞の終止形▽	私は最後でいいです。△形容詞の終止形▽	今日は見たい番組がないです。△形容詞の終止形▽	この問題は難しいです。△形容詞の終止形▽	手伝ってくれると嬉しいですよ。△形容詞の終止形▽	この季節は紫陽花が美しいです。△形容詞の終止形/た▽	山から見た景色が美しかったです。△形容詞+助動詞の終止形/た▽	笑いすぎて、お腹が痛かったです。△形容詞+助動詞の終止形/た▽	協力してくれて、嬉しかったです。△形容詞+助動詞の終止形/た▽	私は彼が正しいと思うのです。△助詞/の▽	彼はプールに行こうと言っています。△助詞/ん▽	眠いのは夜中まで起きていたからです。△助詞/から▽	量が多くて食べきれないくらいです。△助詞/くらい▽	笑っているのは彼だけです。△助詞/だけ▽	このプレゼントは君にです。△助詞/に▽	いま料理ができたばかりです。△助詞/ばかり▽	彼の計算の早さは驚くほどです。△助詞/ほど▽	授業は明日までです。△助詞/まで▽

2017年

回答者数(人)	1	343	364	308	305	355	352	348	360	239	272	354	350	323	291	255	310	107	74	350	196	356	50	320	178	354
	2	27	12	42	54	17	18	27	12	105	66	19	24	28	52	75	47	79	171	20	98	17	128	49	80	18
	3	4	0	6	1	0	1	1	1	12	8	1	3	7	10	9	6	73	22	1	21	2	18	1	33	0
	4	4	2	22	18	6	7	2	4	21	32	4	1	20	25	39	14	118	110	6	63	3	182	6	87	5
計		378	378	378	378	378	378	378	377	377	378	378	378	378	378	377	377	377	377	377	378	378	378	376	378	377
回答率(%)	1	90.7	96.3	81.5	80.7	93.9	93.1	92.1	95.5	63.4	71.9	93.6	92.6	85.4	77.0	67.5	82.2	28.4	19.6	92.8	51.8	94.2	13.2	85.1	47.1	93.9
	2	7.1	3.2	11.1	14.3	4.5	4.8	7.1	3.2	27.8	17.5	5.0	6.3	7.4	13.8	19.8	12.5	20.9	45.4	5.3	25.9	4.5	33.9	13.0	21.2	4.8
	3	1.1	0.0	1.6	0.3	0.0	0.3	0.3	0.3	3.2	2.1	0.3	0.8	1.9	2.6	2.4	1.6	19.4	5.8	0.3	5.6	0.5	4.8	0.3	8.7	0.0
	4	1.1	0.5	5.8	4.7	1.6	1.8	0.5	1.0	5.6	8.5	1.1	0.3	5.3	6.6	10.3	3.7	31.3	29.2	1.6	16.7	0.8	48.1	1.6	23.0	1.3

1996年

回答者数(人)	1	92	119	65	98	105	109	109	106	110	58	115	106	70	72	75	98	60	52	129	80	131	20	124	69	129
	2	36	21	39	27	25	24	26	22	28	42	22	31	38	40	33	28	41	68	11	37	5	61	10	42	13
	3	2	0	3	3	3	2	1	2	0	3	1	1	7	5	1	1	10	8	2	6	2	4	2	11	0
	4	11	2	35	14	9	7	6	11	4	39	4	4	27	25	33	15	30	14	0	19	3	56	5	20	0
計		141	142	142	142	142	142	142	141	142	142	142	142	142	142	142	142	141	142	142	142	141	141	141	142	142
回答率(%)	1	65.3	83.8	45.8	69.0	74.0	76.8	76.8	75.2	77.5	40.8	81.0	74.7	49.3	50.7	52.9	69.0	42.5	36.6	90.8	56.3	92.9	14.2	87.9	48.6	90.8
	2	25.5	14.8	27.5	19.0	17.6	16.9	18.3	15.6	19.7	29.6	15.5	21.8	26.8	28.2	23.2	19.7	29.1	47.9	7.8	26.1	3.6	43.3	7.1	29.6	9.2
	3	1.4	0.0	2.1	2.1	2.1	1.4	0.7	1.4	0.0	2.1	0.7	0.7	4.9	3.5	0.7	0.7	7.1	5.6	1.4	4.2	1.4	2.8	1.4	7.7	0.0
	4	7.8	1.4	24.6	9.9	6.3	4.9	4.2	7.8	2.8	27.5	2.8	2.8	19.0	17.6	23.2	10.6	21.3	9.9	0.0	13.4	2.1	39.7	3.6	14.1	0.0